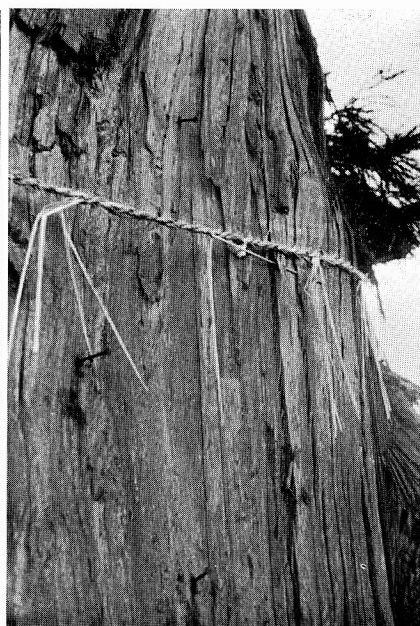


小出宝光院檜の御神木ののろい釘



田村山住吉神社杉の御神木ののろい釘

その日が幸いである」など。

これらの迷信・禁忌を保持し、指導した一群として、おわかさまという、巫女に属する祈禱者があった。これが祟りを被ったり、病気を平癒させたり、仏の口寄せなどをしていた。

この執念か妄念というかが、まだ生きていることを、田村山住吉神社と、小出宝光院の御神木ののろい釘で知ったことは残念であった。年中行事や、真の神に対する信仰とは別に、迷信・邪教・執念などはもう排除してもよい時代になっているように思われるが、如何であろうか。

## 第七章 俗謡・毬歌など

### 一、俗謡

1、会津さんさ時雨 会津地方では、祝言の席に男子の謡曲に対して、女の祝い唄に、必ず歌詞二つ